

自分の成長につながる自己啓発を考えよう

藤本 正己(山口大学 教育・学生支援機構 教学マネジメント室 講師)
杉原 康弘(松山大学 学生部学生支援課 係長)

講師略歴

【藤本正己】専門は高等教育論。2008年に徳島文理大学に大学職員として入職後、情報センターで学内システムの運用・管理の業務、教務部教務課において入試業務を担当。2022年1月に愛媛大学教育企画室特定研究員、特任助教を経て、2023年4月より現職。現在は FD・SD・IRの業務を行っている。愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室プロジェクトフェロー。

【杉原康弘】大学卒業後は民間企業に勤務し、2010年に松山大学に事務職員として入職。入試課、教務課、経営企画課を経て、2025年4月より現職。SPOD 次世代リーダー養成ゼミナール修了生(第7期)。四国地区大学教職員能力開発ネットワーク スタッフ・ディベロップメント・コーディネーター(SPOD - SDC)。桜美林大学大学院大学アドミニストレーション専攻(通信教育課程)修了。修士(大学アドミニストレーション)。

プログラム概要

近年、大学業務の高度化・複雑化によって、大学職員が果たすべき役割は大きくなっています。大学職員の活躍がこれまで以上に期待される中で、大学は SD などを通じ、大学職員の能力開発を促しています。

大学職員の能力開発には、大学が実施する組織的な取組の他に、個人による取組があります。個人による能力開発は「自己啓発」と呼ばれ、様々な方法で行われています。大学改革が進められる中で、個人で能力開発を進めることが可能な自己啓発は、今後ますます重要性を増していくことでしょう。

このプログラムでは、自己啓発における目標設定の重要性やセルフマネジメントの方法について確認するとともに、参加者個々の成長につながる自己啓発について考えていきます。

参加者のみなさまには、個人ワークやグループワークなどの活動に積極的に参加いただくことを期待しています。

準備物・事前課題

指定するオンデマンド教材の視聴

「5年後、どのような大学職員になりたいか」について、その理由とともに考える

主な受講対象者

- ・入職後5年目から10年目までの大学職員
- ・自己啓発に興味のある若手の大学職員

到達目標

1. 自己啓発における目標設定の重要性を説明できる。
2. 自己啓発におけるセルフマネジメントや習慣化の手法を説明できる。
3. 自分の成長につながる自己啓発を計画することができる。